

管楽器が紡ぐ世界の物語



ミシェル・モラゲス
©CHRISTOPHE ASBRAMOWITZ

デヴィッド・ザイデル
©Wolf-Dieter Grabner

ジャン=イブ・フルモー
©jeannelmartin.com

セルジオ・カローノ

須川展也
©Toru Hasumi

ラーシュ・カーリン
©Jackson James 2024



西野 ゆか 双紙 正哉 吉田 有紀子 海野 幹雄 岡山 理絵 ハラルド・ナエス 白水 大介 高橋 将純 阿部 竜之介 篠崎 和子 羽石 道代 大堀 晴津子 中村 真理

第32回 浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバル

Opening Concert

オープニングコンサート アカデミー教授陣ゆかりの作品で彩る珠玉のコンサート

- M.モラゲス フルート、ヴィオラとハープのためのソナタ ドビュッシー フルート・ヴィオラ・ハープ
- L.カーリン 3つの新しいスウェーデンの歌 ソロトロンボーン・金管五重奏
- 須川展也 アメイジング・グレース 啼鶯 サクソフォン(無伴奏)
グラヴィティ・アシスト 狭間美帆 サクソフォン(無伴奏)
- J-Y.フルモー コンチェルトより第1楽章 トマジ サクソフォン・ピアノ
- D.ザイデル ファゴットとピアノのためのソナタより第2楽章 エレート ファゴット・ピアノ
バラード・カーニバレスク レフラー フルート・オーボエ・サクソフォン・ファゴット・ピアノ
- S.カローノ チェロソナタより第3楽章アンダンテ ラフマニノフ/ワルブレスキ チューバ・弦楽四重奏
チンボラン フィッツパトリック チューバ・サクソフォン・弦楽四重奏・ピアノ

※出演者、曲目、曲順は変更になることもございます。予めご了承ください。
※未就学のお子様のご入場はご遠慮いただいております。

2026 8.3 月

アクトシティ浜松 中ホール

開場 18:15 開演 19:00

一般 ¥3,500 高校生以下 ¥1,500 (税込) 全席自由

受講生選抜 プレミアムコンサート

8.7 日
クリエート浜松・ホール
開場 18:00 開演 18:30
無料(要整理券・全席自由)

※整理券:5月15日(金)~アクトシティチケットセンターにて配布

チケット取扱い
チケットぴあ <https://t.pia.jp>
Pコード:326-264(オープニングコンサートのみ)
アクトシティ浜松チケットセンター
ヤマハミュージック 浜松店 TEL.053-454-2770
(株)久米 TEL.053-433-2536
(株)ババルドン楽器 TEL.053-473-0256

チケット発売開始
アクトシティ浜松友の会
5月10日(日)10:00~
一般
5月15日(金)10:00~

お問い合わせ
公式サイト

(株)オーバス・ワン TEL.03-5577-2072
(公財)浜松市文化振興財団 文化事業課 TEL.053-451-1150

<https://hamamatsuwindacademy.com>





ミシェル・モラゲス フランス国立管弦楽団第二ソリスト

1989年よりフランス国立管弦楽団第二ソリストをつとめている傍ら、パリ国立高等音楽院にて室内楽クラスの教授、またパリ国立地方音楽院にてフルートの指導にあたる。14歳でパリ国立高等音楽院に入学し、ジャン＝ピエール・ランバ、アラン・マリオンに師事。1979年、フルート演奏と室内楽クラスで1位を獲得。1978年、1981年に国際ソロコンクール、1981年にはブダペスト国際コンクールで入賞。室内楽奏者として、1980年にミシェルの兄弟であるピエールとバスカル、またダヴィッド・ワルター、パトリック・ヴィールと共に、モラゲス木管五重奏団を結成。オーケストラではレナード・バーンスタイン、ピエール・ブレーズ、サー・コリン・デイヴィス、シャルル・デュトワなど多数の名指揮者の元で演奏を果たす。現在は、モラゲス木管五重奏団と共に室内楽音楽祭を主宰している。



須川 展也 東京藝術大学招聘教授

日本が世界に誇るクラシカル・サクソフォン奏者。長きにわたり、現代を代表する作曲家への委嘱を継続し、クラシカル・サクソフォンのレパートリーを開拓し続けている。国内外の著名オーケストラと多数共演。30ヶ国以上で公演やマスタークラスを行う。東京藝術大学卒業。第51回日本音楽コンクール、第1回日本管打楽器コンクール最高位受賞。2002年NHK連続テレビ小説「さくら」テーマ曲演奏。最新CDは自身初の無伴奏作品となる「パヴァー・シークェンス」(R2文化庁芸術祭優秀賞)。東京交響成ウインドオーケストラ・コンサートマスター(1989-2010年)、ヤマハ吹奏楽団常任指揮者(2007-2020年)を歴任。トルヴェール・クワルテットのメンバー。



ラーシュ・カーリン デンマーク放送交響楽団首席

スウェーデン出身。オーケストラ奏者としてベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団(ドイツ)ソロトロンボーン奏者を経て、2020年よりデンマーク国立交響楽団(デンマーク)のソロトロンボーン奏者に就任。12歳でトロンボーンを始め、ボルレンゲ音楽学校、ファルン音楽院、ストックホルム王立音楽院、ハノーファー音楽演劇大学、ベルリン音楽芸術大学で学ぶ。また、ロサンゼルス心理学者ドン・クリン博士による「ピークパフォーマンスのためのパフォーマンス・マスター」の指導も受ける。これまでに2008年リエクサ国際トロンボーンコンクール、2010年アイオロス国際管楽器コンクール、2011年ドイチェ音楽コンクールなど、国内外の音楽コンクールで入賞する。室内楽では2007年から2020年までトロンボーンユニット「ノーファー」のメンバーとして活躍し、レパートリーの編曲を数多く担当。彼らの

CD「Living on the Edge」は、彼自身によるアレンジのみで録音された。また、2018年にバストロブーン奏者トメル・マシコフスキーと共に「Sliding thru the opera」を結成し、活躍の場を広げている。



デヴィッド・ザイデル グラーツ国立音楽大学教授

ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院にてミラン・トゥルコヴィッチ、富永芳憲、リチャード・ガラーに師事。ウィーン放送交響楽団首席奏者を長きにわたり務め、ソリストとしても、ウィーン放送交響楽団、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団、シュトゥットガルト室内管弦楽団とも協演。「テオフィル・アンサンブル・ウィーン」、「パオロ・クインテット・ウィーン」など室内楽も積極的に活動している。

現在、グラーツ音楽大学のファゴット科教授を務める。これまでにウィーン音楽大学の室内楽講師、東京藝大、南カリフォルニア大学ロサンゼルス校、リヨン国立音楽院でも客員講師を務めている。



ジャン＝イブ・フルモー ソリスト

フランス生まれ。フランスの伝統的なクラシカルサクソフォンの流れを受け継ぎ、ソロ、室内楽、オーケストラ、指導者として活躍する音楽家の一人でもある。これまでにベルリンフィルほかフランス放送フィルハーモニー管弦楽団とも共演するほか、指導者としてセルジー・ポントワーズ国立音楽院教授やパリ国立高等音楽院審査員を務めた。また、数多くのCDをレコーディングし、「PHILIPS classic」レーベルで世界唯一のサクソフォン奏者でもある。



セルジオ・カロリーノ ポルト国立交響楽団

チューバのためのすべてのレパートリーへの深い解釈と、ジャズ、ファンク、即興音楽へのアプローチによって国際的な名声を確立している唯一無二の芸術家で、現在最も注目されるチューバ奏者の一人である。その高い音楽性による演奏に対してこれまでにロジャー・ボボ優秀録音賞、新進ジャズアーティスト賞、カルロス・パレダス賞を受賞、2012年に出版した作品とポルトガル音楽界の世界的な普及に対してSPA賞2013-クラシック音楽部門が贈られた。2002年からポルト国立交響楽団の首席チューバ奏者を務めており、指導者としてもポルト高等音楽芸術学校を経て、現在マドリッド音楽芸術大学教授として後進の指導にあたっている。

Hamamatsu International Wind Instrument Academy

第32回 浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバル

Opening Concert

オープニングコンサート



双紙 正哉

北九州市出身。桐朋学園大学卒業。篠崎永育、徳永二男、A.アレンコフの各氏に師事。大学在学中より広島交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団のゲストコンサートマスターを務める。95年、東京交響楽団のアシスタント・コンサートマスターに就任。98年退団後はソロ、室内楽を中心に活躍。ストリングクワルテットARCOメンバー。2004年北九州市市民文化奨励賞受賞。2005年より東京都交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者。



海野 幹雄

著名な音楽一家に生まれ、幅広いレパートリーを持つマルチなチェリスト。多くのソロや室内楽公演の他、全国的な主要オーケストラへ定期的に首席奏者として客演。(財)地域創造「公共ホール音楽活性化事業」、ソニー音楽財団「こどものためのクラシック」登録アーティスト。室内オーケストラARCUS、ピアノリオ海(Meer)、作曲家・新垣隆とのデュオ・オリゴメンバ、NPO法人「ハマの」JACK、理事。東邦音楽大学講師。コロナ禍以降youtubeにて「海野幹雄と仲間たち」という動画シリーズを定期的に配信している。



ハラルド・ナエス

2002年、ノルウェー国立音楽院卒業。学生時代よりオスロフィルハーモニー管弦楽団、ベルゲンフィルハーモニー管弦楽団、ノルウェー放送交響楽団、スウェーデン放送交響楽団、ノルウェー王国海軍音楽隊など、北欧の様々なオーケストラで演奏活動を行い、ノルウェーの国内の他、ヨーロッパでも行う。ヤン・フレディック・クリスチャンセンに師事。兵庫県立芸術文化センター管弦楽団を経て、2007年6月より京都市交響楽団団員。2010年より京都市交響楽団首席トランペット奏者に就任。神戸女学院大学非常勤講師。



高橋 純純

宮城県仙台市出身。武蔵野音楽大学、チューリッヒ芸術大学卒業。2002年東京文化会館新進音楽家オーディションに合格、同デビューコンサートに出演。第77回日本音楽コンクールホルン部門入選。2008～2009年ヴェルビエ音楽祭管弦楽団メンバー。2010～2014年チロル音楽祭管弦楽団ソロホルン奏者。2014年より大阪フィルハーモニー交響楽団首席ホルン奏者。大阪芸術大学、相愛大学非常勤講師。これまでにホルンを木下貴久、田中正大、丸山勉、ラドヴァン・ヴラトコヴィチ、ナイジェル・ダウニング、ヘルマン・パウマンの各氏に、ナチュラルホルンをグレン・ボーリング氏に師事。



篠崎 和子

桐朋学園大学、ニース音楽院卒業。UFAM国際音楽コンクール上級部門第1位、USA国際ハーブコンクール入賞等、国内外のコンクールで多くの受賞歴を誇る。エクソンモービル音楽賞洋楽部門奨励賞、出光音楽賞受賞。文化庁派遣芸術家在外研修員として2年間フランスに留学。帰国以来、日本や中国の主要オーケストラとの共演をはじめ、リサイタルや室内楽の演奏会に出演している。現在、桐朋学園大学非常勤講師、いずみシンフォニエッタ大阪メンバー。



大堀 晴津子

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業、同大学院修了。同大学ピアノ科助手を経て、現在昭和音楽大学非常勤伴奏講師。東京藝術大学音楽学部管打楽器科非常勤講師(伴奏助手)。びわ湖国際フルートコンクール一般部門最優秀協演賞受賞などアンサンブルでの評価も高い。浜松国際管楽器アカデミー、ロムミュージックセミナー、日本フルートコンヴェンション、日本木管コンクール等の公式伴奏を務めるなど室内楽や器楽伴奏を中心に演奏活動している。



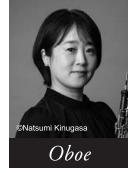
西野 ゆか

桐朋学園大学音楽学部、同大学研究科修了。大学在学中にカルテット・エクセルシオを結成。第2回大阪国際室内楽コンクール、第5回パオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクールにおいて第2位、併せてサルバトーレ・シラーノ特別賞を受賞。また第19回新日鉄音楽賞「フレッシュアーティスト賞」、第16回ホテルオークラ音楽賞を弦楽四重奏団として初めて受賞する。浦安音楽ホール、レジデンシャル・アーティスト。カルテット・エクセルシオ第1ヴァイオリン奏者。



吉田 有紀子

桐朋学園大学音楽学部を経て同大学研究科修了。1994年弦楽四重奏団カルテット・エクセルシオを結成。第2回大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門第2位、第5回パオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクール最高位、第19回新日鉄音楽賞「フレッシュアーティスト賞」、第16回ホテルオークラ音楽賞、青山音楽奨励賞など受賞歴多数。カルテット・エクセルシオを中心に幅広く活躍している。浦安音楽ホールレジデンシャル・アーティスト。桐朋学園大学大学院室内楽コース非常勤講師。



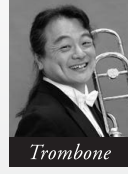
岡山 理絵

滋賀県立石山高専音楽科を経て、京都市立芸術大学卒業、同大学院音楽研究科を修了。第19回ヤマハ管楽器新人演奏会に出演。第6回津山総合音楽祭ダブルリードコンクール入賞。ロムミュージックファンデーションの奨学金を受け渡独、マンハイム音楽大学、ヴェルツブルク音楽大学を修了。現在、神戸市室内管弦楽団首席オーボエ奏者、同志社女子大学学芸学部音楽学科嘱託講師。



白水 大介

1998年、長崎大学教育学部中学校教員養成課程数学専攻科在学中に関西フィルハーモニー管弦楽団にトッ奏者として入団し、2023年より大阪交響楽団首席奏者。PMF1999、第5回宮崎国際室内楽音楽祭に参加。第25回長崎県新人発表演奏会優秀賞、第8回松方ホール音楽賞選考委員奨励賞を受賞。ソロ・アルバム「POSSIBILITY」をリリース。相愛大学、京都市立芸術大学の各非常勤講師。



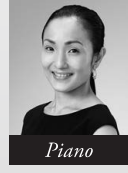
阿部 竜之介

1998年渡仏、フランス国立ベルビニヤン音楽院を卒業。同音楽院チューバ科助教授、ドイツ、ライプツィヒ放送吹奏楽団首席ユーフォニアム奏者、ハンガリー、サボルチ交響楽団首席トロンボーン奏者を経て活動拠点を日本に移す。済州島国際ブラスコンクールなどのコンクールで上位入賞。現在、大阪交響楽団首席トロンボーン奏者、ESA音楽学院専門講師トロンボーン・ユーフォニアム講師。www.pepeabe.com



羽石 道代

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、同大学を首席で卒業、安宅賞、アカンサス音楽賞を受賞。同大学院修士課程を首席で修了、クワイター賞を受賞。ソリストとしての活動の他、アンサンブルピアニストとして国内外のソリストと多数共演。その他演奏会シリーズ「羽石道代プラスシリーズ」「羽石道代クロスシリーズ」「ピアニスト羽石道代のシリーズトリコローレ」それぞれご紹介いたします」を継続中。現在東京藝術大学管打楽器科伴奏研究員。とちぎ未来大使。



中村 真理

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学を経て、同大学院修士課程修了。ファイナレリグレ国際音楽コンクール(伊)第3位、さくらびあ新人コンクール第1位大賞受賞、マルクノイキルヒェン国際コンクール(独)優秀伴奏者賞を受賞。浜松国際管楽器アカデミーにて公式伴奏者を務め、アンサンブルピアニストとして国内外の演奏家から厚い信頼を寄せられている。東京藝術大学管打楽器科非常勤講師を経て、現在リオン音楽院ピアノ・ソルフェージュ講師を務めている。

※敬称略